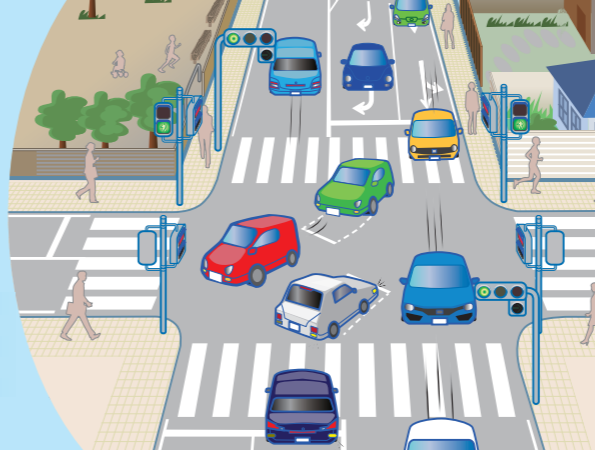


第3次交差点すいすいプラン を策定しました



『ようこそ「イコロ」—北海道の宝モノが仲間入り—』

恩賜上野動物園 乙津和歌

「いらっしゃい」、「初めまして、ようこそ」。GW真っ只中、ホッキョクグマの展示場では新しい仲間の登場に、来園者の皆様からあたたかい歓迎の声が上がっていました。

歓迎を受けていたのはオスのホッキョクグマ「イコロ (Ikoro)」です。北海道帯広市のおびひろ動物園からやって来ました。

イコロは現在6才、2008年に北海道札幌市の円山動物園で生まれ、1才の時からおびひろ動物園でくらしていました。

イコロの綴り「Ikoro」におやっと思われた方もいらっしやるかもしれませんが、これは間違いではありません。名前の由来をご紹介します。「イコロ」は北海道に古くから住んでいるアイヌの方の言葉で「宝物」を意味します。円山動物園のお客様による命名募集で決定しました。イコロの「コ」の部分の発音は少々難しく、小さくほやかすような感じに発声します。アイヌ語にみられる母音のつかない形式の語句で、綴りでは最後に「o」がつきません。ちなみに、イコロは双子で誕生し、もう一頭は「キロル (Kiroru)」と命名されています。こちらは「道」という意味です。

最近、ホッキョクグマは地球温暖化の影響を受けている動物の象徴としてよく取り上げられ、野生での生息数の減少が心配されています。日本の動物園でのホッキョクグマの繁殖数は、まだまだ多くなく、この貴重な命に対する北海道の方々の思い入れが伝わってきますね。

4月13日朝6時、北海道の大勢の「イコロファン」の方々に見送られながらおびひろ動物園を後にしたイコロ。10時間以上の道のりをかけて東京に到着しましたが、長旅の疲れも見せずに元気な姿で、新しい我が家をあちこち見回って、住み心地を確かめていました。

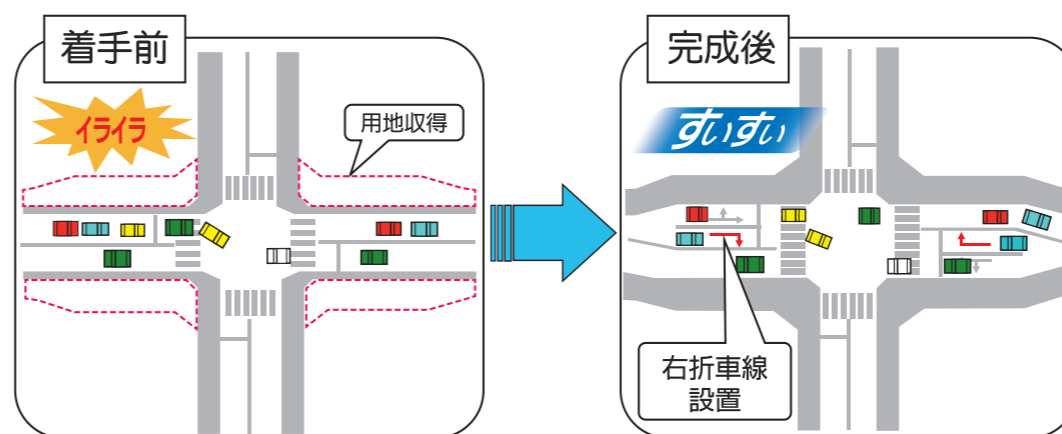
現在、国内の動物園は協力してホッキョクグマの繁殖に取り組み、飼育頭数を増やすプロジェクトを進めています。イコロが上野動物園にやって来たのもその取り組みのひとつで、メスのデア (6才) との間にもまたひとつ「宝物」が誕生する事が期待されます。



第3次交差点すいすいプランとは

片側一車線道路の交差点に、右折車線等を整備することで、右折待ち車両による渋滞を緩和し、円滑な交通を確保することを目的としています。

整備イメージ



計画期間：平成27年度～平成36年度
整備箇所：76箇所(多摩地域71箇所、区部5箇所)
総事業費：393億円



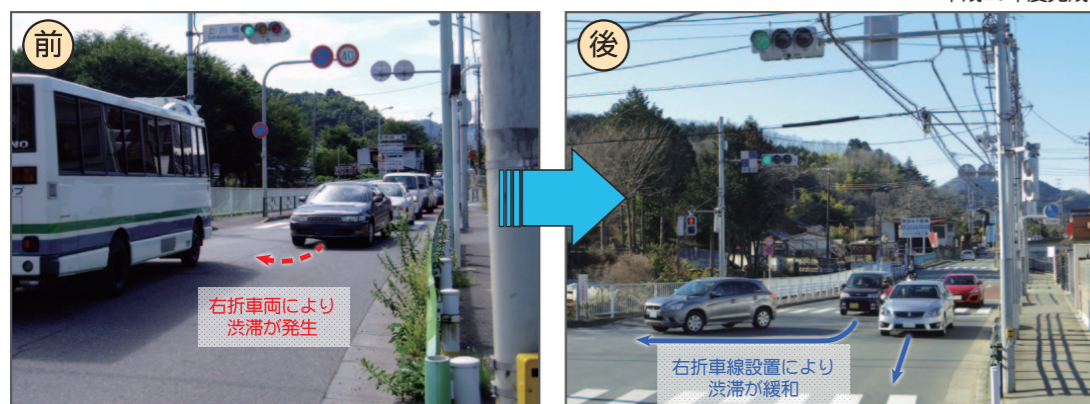
どんな効果があるの？

第1次・第2次計画における整備箇所 (平成6年度～平成26年度)

完成又は一部完成 110箇所
〔多摩地域：104箇所
区部：6箇所〕

整備効果の事例 上川橋交差点(八王子市 主要地方道32号 八王子五日市線(秋川街道))

平成20年度完成

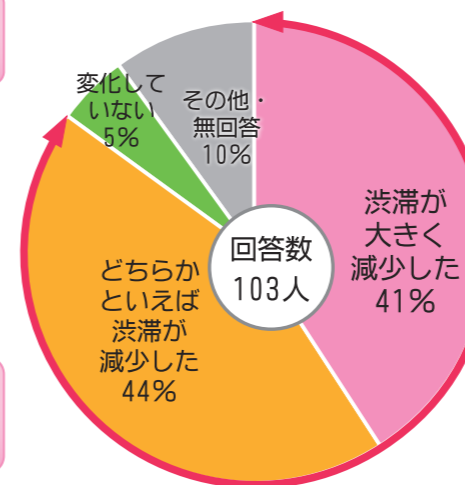


★ 通過時間の短縮：13分(最大)

■ 完成後のアンケート調査結果
(周辺住民・交通事業者を対象に調査)

☑ 完成後、渋滞は減少しましたか

★ 約8割の方が
『渋滞が減少した』と実感



～動物園の“かお”～

多摩動物公園
ツキノワグマのオス「ソウ」

4月に上野動物園から多摩動物公園に来たツキノワグマのオス「ソウ」です。

